

■ Linuxと環境強化サポートサービスとのセット

サポートサービス for Red Hat Enterprise Linux Advanced Edition

Red Hat Enterprise Linuxと、Linuxの信頼性をより強化するサポートサービスです。障害発生時の原因特定に必要な情報取得機能の強化ツールと、特定のアップデートに対する長期サポートをセット。より安心してLinuxシステムを利用できます。

Red Hat Enterprise Linux	10年以上の間、オープンソースプロジェクトとして、全世界のユーザーにより、テスト・開発されてきたLinuxをベースとした、エンタープライズ分野向けの堅固で高性能なOSです。
ダンプ取得機能強化	「Linux Tough Dump」ツールで、迅速な障害解析を支援します。高速かつ、より確実にメモリダンプを採取、障害解析の迅速化を図り、ハンガーストップやスローダウン時にもダンプ取得が可能です。
ログ環境強化	「HA Logger Kit」ツールで、高負荷やシステムリソース不足時でも安定動作するログ基盤を実現します。詳細な情報を記録する専用ログによるトラブルシュートを強化します。
アップデート拡張保守	特定のアップデートに対し、対象アップデートのリリースから24か月にわたり、万一、不具合があった場合も対策版を提供します。

■ 文字コードサポートサービス

レガシ文字コード Shift JISサポート	Linuxでも基幹システムと同じShift JISを使い、Shift JISに関する問い合わせ対応や不具合対策版も提供します。これにより、移行に伴うUTF-8へのコード変更、プログラム資産の改修作業を軽減できます。
レガシ文字コード EUCサポート	Linuxでも基幹システムと同じEUCを使い、EUCに関する問い合わせ対応や不具合対策版も提供します。これにより、移行に伴うUTF-8へのコード変更、プログラム資産の改修作業を軽減できます。

EUC:Extended Unix Code

■ Linux環境強化サポートサービス

高信頼化拡張セット メインフレームレベルのカーネルトレース機能により、迅速かつ確かな原因究明と対策ができます。また、ネットワークの監視、障害時の切り替え機能を強化することで、障害時の業務継続ができます。	ダンプ取得機能強化	「Enterprise Event Recorder」ツールで、カーネルトレースやイベントログ取得が可能です。
	ネットワーク環境強化	「HA Network Driver」ツールで、ネットワークバスを高信頼化します。アダプタ障害だけでなく、経路障害も検知し、切り替えが可能です。ヘルスチェック機能にて障害を早期検出します。
ストレージセット* 日立独自開発のドライバが、ストレージ機器への経路を常に監視。適切なリトライや、データ破壊の防止により、障害発生時のシステム継続性とデータ保護を強化します。 *ファイバチャネル・日立ディスクアレイ環境強化サポートセット	ファイバチャネル環境強化	「Hitachi Fibre Channel - Path Control Manager Premium Edition」ツールで、マルチパス機能によるI/Oの高速/高信頼化、パス診断機能によるI/Oの障害検出、障害しきい値管理による障害部位の切り離しを可能にします。
	日立ディスクアレイサブシステム環境強化	「Hitachi Disk Array Driver」ツールで、ストレージの種類に応じたリカバリを実施します。LU閉塞によるデータ破壊防止機能など高信頼化機能を提供します。 LU:Logical Unit

HAクラスタ環境強化	「Hitachi HA Booster Pack for Linux」ツールで、共有ディスクの高速切り替えとOS障害の通知により、系切り替えを高速にします。
------------	--

■ 保守延長サポートサービス

OSバージョン固定保守	特定のアップデートに対し、対象アップデートのリリースから72か月にわたり、万一、不具合があった場合も対策版を提供します。
-------------	--

■ プログラム資産の移行診断

プログラム移行診断サービス	プログラム(C言語、COBOL、Java、シェルスクリプト)の移行による影響を調査し、改修要否の重要度や該当箇所、件数を報告します。
---------------	--

■ 関連ミドルウェア

COBOL2002	COBOL国際規格に対応したCOBOLの開発・実行環境を提供します。COBOL85互換に加え、JavaやXMLと連携するアプリケーションの開発が可能です。Linux環境でShift JISコードもサポートします。*1
JP1/Advanced Shell	Kornシェルベースのシェルスクリプト実行環境を提供します。基幹システムのLinuxシステムへの移行や開発に必要となる、シェルスクリプトのカバレッジやデバッグの利用も可能です。Linux環境でShift JISコードもサポートします。*1*2
uCosminexus Application Server	Java SE/Java EE に対応したWebアプリケーション実行環境を提供します。

■ 前提サポートサービス

*1 文字コードサポートサービスが前提です。 *2 Shift JISコードをサポートするコマンドに限られます。

日立サポート360	お客様のLinux環境を構成するサーバ、OS、ミドルウェア、ストレージ、ネットワークをワンストップでサポート。さらにLinux環境強化、文字コードサポート、保守延長サポートにより、システムの移行支援や、安定稼働を支えます。
-----------	---

・HITACHI、BladeSymphony、uCosminexus、JP1は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。・Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。・OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。・Red Hatは、米国およびその他の国でRed Hat, Inc.の登録商標もしくは商標です。・UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 動作環境については、製品情報サイトで最新情報をご確認ください。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

Red Hat Enterprise Linux、プログラム移行診断サービス

- 製品情報サイト
<http://www.hitachi.co.jp/soft/linux/>
- インターネットでのお問い合わせ
http://www.hitachi.co.jp/soft/ask/index_pf.html
- 電話でのお問い合わせは **HCAセンター**へ
☎ **0120-55-0504** 受付時間：9:00~12:00、13:00~17:00（土・日・祝日・弊社休日を除く）

携帯電話、PHS、一部のIP電話などフリーダイヤルがご利用いただけない場合は、ダイヤルイン：045-762-3059（通話料金はお客様のご負担となります）

日立サポート360(Linux環境強化、文字コードサポート、保守延長サポート)

- 製品情報サイト
<http://www.hitachi.co.jp/soft/support360/>
- インターネットでのお問い合わせ
<http://www.hitachi.co.jp/soft/support360/inquiry.html>
- 電話でのお問い合わせは **HCAセンター**へ
☎ **0120-2580-12** 受付時間：9:00~12:00、13:00~17:00（土・日・祝日・弊社休日を除く）

株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部

日立IT環境強化ソリューション

Red Hat Enterprise Linux[®]
+
Hitachi IT Platform

HITACHI
Inspire the Next

Red Hat Enterprise Linux + Hitachi IT Platform

Linuxに、日立の高信頼を。ビジネスに、さらなる可能性を。

CA-987Q 2018.4

©Hitachi, Ltd. 2018. All rights reserved.

日立が、変える。 Linuxを、ミッションクリティカルな基幹システムに。

基幹システムの移行に選ばれる、Red Hat Enterprise Linux。

日立なら、そこに、高信頼をプラスします。

Red Hat Enterprise Linuxを対象としたサービスを日立が始めたのは、1999年。

以来、Linuxを基幹システムに安心してお使いいただくため、商品仕様の強化やサービス品質の向上に取り組んできました。

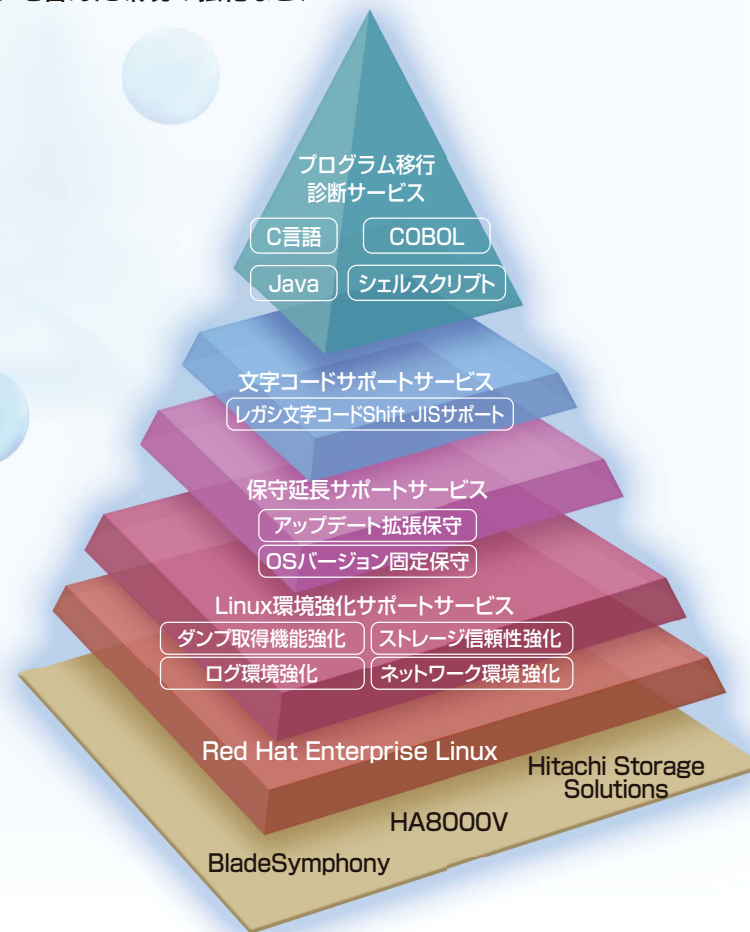
さらに、システムの移行支援や安定稼働を支える長期サポート、ネットワークやストレージを含んだ環境の強化など、

Linuxシステムのライフサイクルごとに適切なサービスを用意しています。

メインフレームやUNIXサーバで培った30年以上の知識・経験、そして、

金融や公共システムなどミッションクリティカルな社会基盤への適用実績。

これらの強みを生かし、日立は、お客さまのLinux環境を支えていきます。



基幹システムのプログラム資産をLinuxでも使いたい。

プログラム資産を移行する場合、ハードウェアやコマンドなどの差異があるため、C言語やシェルスクリプトなどの改修が必要です。日立では、その影響を明らかにし、効率的に移行できるサービスを用意しています。

文字コードの変更に膨大な作業を要するのでは。

基幹システムではShift JIS、LinuxではUTF-8と異なる文字コード。変更されると、プログラム処理に大きな影響を与えてしまいます。日立では、LinuxでもShift JISを使えるサービスを用意しています。

長く使いたいのので充実したサポートが欲しい。

日立は、Linuxの標準サポート終了後も、お客さまがサーバをお使いの間、サポートを継続します。過去の事例から障害原因を調査し、問い合わせに回答。不具合に応じた対策版の提供サービスも用意しています。

基幹システムと同じように安心して使いたい。

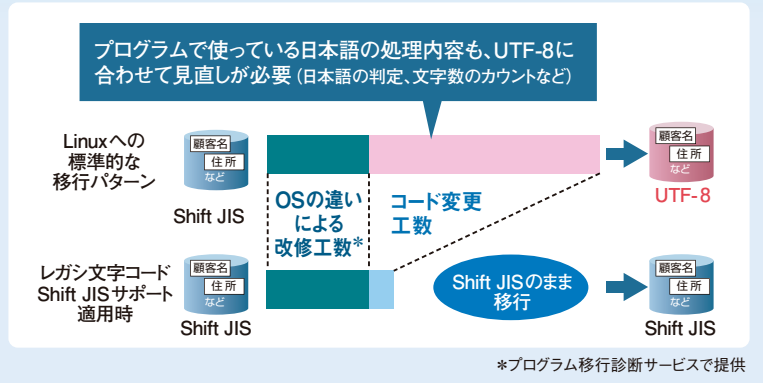
障害が発生した際に必要となるのは、その原因を特定できる情報です。日立では、システムが停止した場合でも、必要な情報を取得できるツールを用意。ツールによって取得した情報で原因を特定し、システム復旧に役立てます。

JIS: Japanese Industrial Standards UTF: UCS Transformation Format

文字コードサポートサービス

文字コード変更にかかる工数を、大幅に削減。

Linux移行時に大きな問題となるのが、文字コードの違い。基幹システムのC言語やCOBOLで使われているShift JISと、Linux標準の文字コードUTF-8は、文字サイズ(バイト数)とコードの値が異なり、移行時に大幅なプログラム改修が必要です。日立では、LinuxでもShift JISを使用できる「レガシ文字コードShift JISサポート」を提供。移行前と同じShift JISをLinuxでも使用できるため、移行に伴うプログラム改修工数を削減できます。さらに、Shift JIS環境の問い合わせ対応や不具合対策版の提供も実施。システムの安定稼働を実現します。

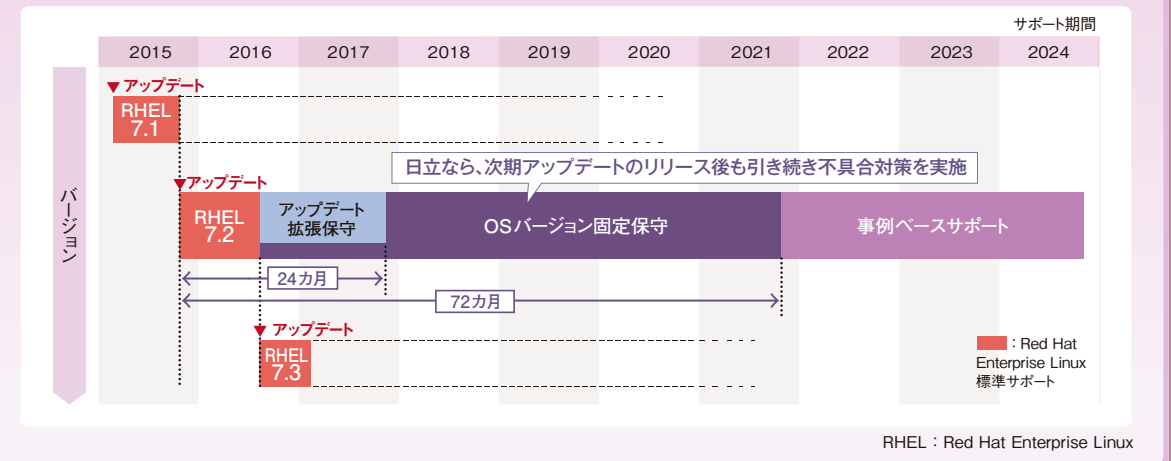


*プログラム移行診断サービスで提供

保守延長サポートサービス

標準サポート終了後も、日立独自の保守サービスを提供。

Red Hat Enterprise Linuxの標準サポート(10年間)を受け続けるためには、常に最新アップデートの適用が必要となります。日立の「保守延長サポートサービス」なら、特定のアップデートのリリース日から24カ月または72カ月の間、問い合わせ対応や不具合対策版の提供を実施。さらに、サービス期間終了後も、事例ベースサポートで、ハードウェアの保守期限までお客さまの問い合わせに回答します。

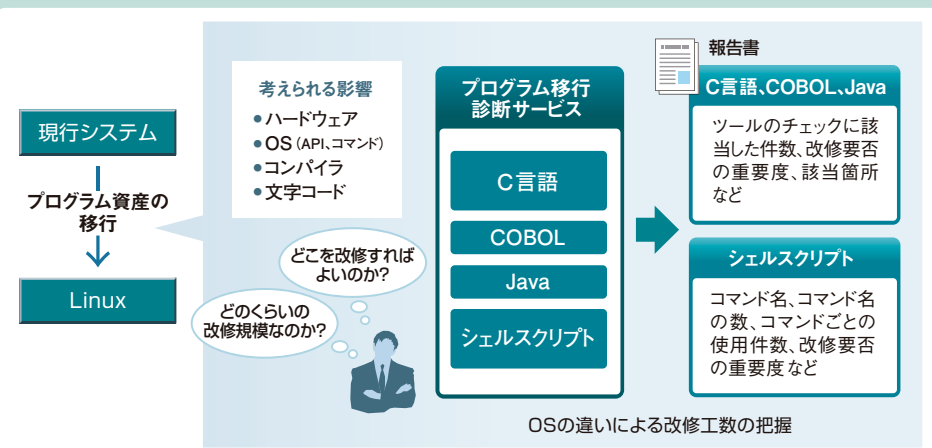


RHEL: Red Hat Enterprise Linux

プログラム移行診断サービス

プログラム資産の移行による、影響と改修すべき点を診断。

基幹システムでは、C言語やCOBOL、Java、シェルスクリプトなどのプログラム資産が使用されています。これらをLinuxに移行する場合、OSの違いによって、どこをどのくらい改修しなければいけないのか、事前に分析する必要があります。「プログラム移行診断サービス」では、プログラム資産の移行による影響を調査し、改修すべき内容とその規模を判断します。

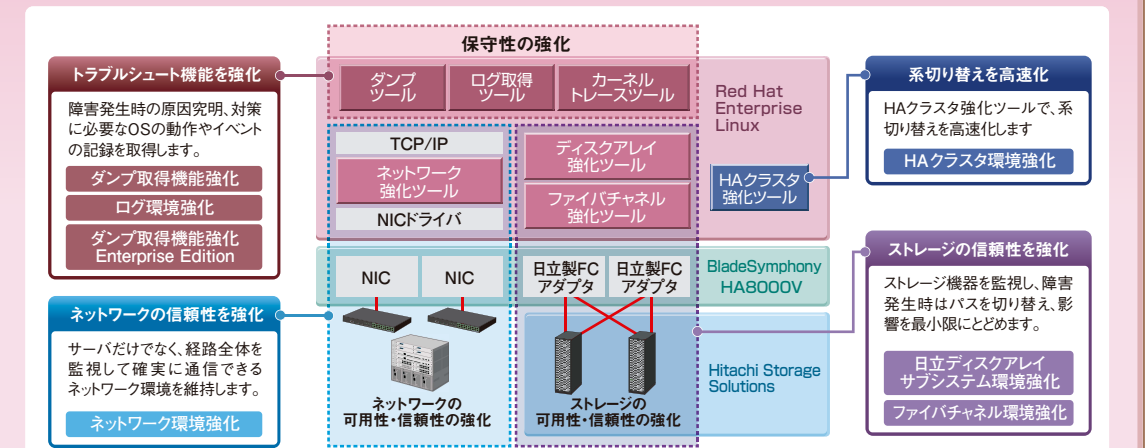


API: Application Programming Interface

Linux環境強化サポートサービス

Linuxからネットワーク、ストレージまで。Linux環境の信頼性をまるごと強化。

システムが異常終了してしまった場合、原因調査のためにメモリダンプやログを取得する必要があります。「Linux環境強化サポートサービス」では、障害の発生時に、より確実にメモリダンプやログを取得できるツールを提供。さらに、サーバだけでなくネットワークやストレージも監視し、Linux環境の保守性と信頼性を強化します。



FC: Fibre Channel HA: High Availability NIC: Network Interface Card TCP: Transmission Control Protocol